

日米が狙う核廃棄物最終処分場

ジャーナリスト
西谷文和

モンゴルレポート

国民の多数が「原発ゼロ」を願っているのに、「小選挙区マジック」で自民党が圧勝し、原発推進の安倍内閣になってしまった。関電の社長で、電気事業連合会の会長である八木氏は、さっそく再稼働を要望しているし、東電、関電の株式も急騰している。ひたすら原発の再稼働に走る原子力ムラが、最も頭を悩ませているのが、「核廃棄物の最終処分」だ。昨年5月、毎日新聞が「日米が核処分場極秘計画 モンゴルに建設」とスクープ記事を発表した。その後、この疑惑は水面下に潜ってしまったが、計画は生きていた。昨年11月、そのモンゴルに飛んだ。

日米が核処分場 極秘計画



2011年5月毎日新聞のスクープ記事「核のゴミをモンゴルに埋める？」

「寒いなー。道路、かちかちに凍ってるやん」。首都ウランバートルは「世界で最も寒い首都」だ。11月で零下10度、1月はマイナス30度近くまで下がる日もある。そんなウランバートルで車をチャーターし、東北東へ約700キロ、中国、ロシアとの国境地帯である「マルダイ・ウラン鉱山」をめざす。

道路は舗装されておらず、目印になる建物も何もない中、運転手のドルチョは「長年の経験とカン」だけで、大平原に刻まれたワダチを行く。東部の拠点都市チヨイバルサンで一泊。さらにほとんど誰も住んでいない大平原を6時間ほどドライブして、



▲モンアトムジャパンが提示する核廃棄物輸送ルート
◀マルダイは首都から離れた遊牧民の村だ

ことか分からないだろう。

残土置き場に近づくだけでピーピー、警報音が鳴り出す。測ったら24マイクロ。これは福島近のホットスポットと同レベル。ウランの恐ろしさをあらためて



◀ 96年まで旧ソ連がここでウランを露天掘り。閉山後、雨水が溜まって池になっている

▼ ウラン残土置き場。防護壁なし、「KEEP OUT」の立て札のみ



痛感する。

私は、このマルダイ周辺に「核物質最終処分場」が作られるのでは？と疑っている。以下、その理由を述べる。

福島原発事故を経験した日本では、おそらく今後、「原子力発電所の新規建設」は難しいだろう。原子力ムラが生き残るためには、外国に原発を輸出するしかない。日本が原発を輸出しようとしている国は、ベトナム、トルコ、サウジ、インド…。特にベトナムではロシアに次いで日本が受注。すでに候補地も決まっている。原発輸出をめぐって、ロシアや韓国としのぎを削る日本。その際のセールスポイントは、「包括的燃料サービス」。

「あなたの国の原発から出たゴミは残しません、日本が責任もって回収いたします」というもの。えっ？ではベトナムの原発から出た核のゴミを日本に持ち帰るの？ご存知の通り、日本の各原発の敷地内には、すでに使用済み核燃料がほぼ満杯。青森県六ヶ所村のプールもほぼ満杯。とても受け入れる余裕はない。

「トイレなきマンション」に

トイレを無理矢理押し付け

そこでモンゴルの大草原が狙われた。広大な土地に、少ない人口。そしてモンゴルはウランの生産国。「ゴミは生産地に送り返せば良い」のだ。

逆にモンゴル政府からすれば「ウラン輸出で儲けて、核のゴミ処理で儲ける」ことができる。ここに日本とモンゴルの利害は一致し、計画は水面下で進められているのだ。

広大なモンゴルで、マルダイは、最も埋められる可能性が高い場所だ。それは①首都ウランバートルから遠い②少数民族の遊牧民の村で、反対運動が起りにくい③西風が吹けば放射能は中国へ流れる④ウラン鉱山があり、生産地へ戻す、という建前(包括的燃料サービス)が成り立つ。⑤すでに調査のための予算がモンゴル国会を通過している。⑥将来、日本から核のゴミを運ぶことになれば、一番近い鉱山がマルダイ。

右頁の地図は、「モンアトム・ジャパン」という大阪市に本社を置く企業が作成したもの。「モンアトム」はモンゴル政府直轄の原子力企業で、「モンアトム」

ジャパン」は、その日本支社という関係だ。

311の衝撃はいずれ冷めていくだろう。メディアが福島の人々の記憶から震災と原発事故が消え去っていく頃、この計画は表面化し、一気に進んでいくのではないのか？

ウラン鉱山のそばに遊牧民のゲルがあった。零下10度の寒風が吹き付ける中、夫婦で家畜に水をやっていて。「最近、井戸の水位が下がっている」と遊牧民のおじさん。そばで中国系企業がウラン鉱山を掘っている。水脈を切ったのか。それとも地球温暖化の影響で雨が少なくなっただのか。おそらく両方だろう。

何も知らない遊牧民に核のゴミを押し付けていいのか？処分場ができてしまえば、原発は再稼働のハードルをクリアしてしまおう。「トイレなきマンション」のトイレを無理矢理、貧しい外国に押し付けてしまおうということだ。これはモンゴルだけの問題ではなく、私たち自身の問題でもある。